



様式第2号

令和2年11月12日

坂戸市議会議長 様

会 派 名 日本共産党
代表者名 新井 文雄



実 施 報 告 書

下記のとおり、調査研究等を実施したので報告します。

記

- 1 期 日 令和2年10月15日(木) 午後1時30分～3時30分
- 2 参加者氏名

鈴木友之	新井文雄	平瀬敬久	宮坂裕之

- 3 調査研究等の行き先及び内容

行き先	内 容
坂戸市役所 本会議場	坂戸市議会議員研修会 「最近の災害等とその対応～消防を取り巻く変化と 気象災害～」

- 4 概要
別添のとおり

令和2年度 議員研修会報告書

- 1、期日 令和2年10月15日（木） 午後1時30分～3時30分
- 2、研修内容 「最近の災害等とその対応～消防を取り巻く変化と気象災害」
講師： 坂本森男氏 一般財団法人全国市町村振興協会理事長、気象予報士
- 3、参加者 4名全員
新井文雄、鈴木友之、平瀬敬久、宮坂裕之

4、結果（参加者意見、感想）

○消防を取り巻く「変化」

【変化多様化する災害その1、風水害の多様化、大規模化、激甚化。その2、各地での地震発生、火山噴火の懸念。その3、多様な火災の発生、社会資本・危険物施設の老朽化について】

水害、地震、火災各分野の近年の傾向や被害状況について説明があり、災害発生の頻度と被害状況について認識を改めた。

○消防を取り巻く「変化」

【社会全体の変化その1、人口減少・少子高齢化、雇用者人口の増加。その2、災害に対する人々の認識、最先端新技術の活用。その3、各国でテロ等発生、大規模イベントの開催、訪日外国人・在留外国人の増加について】

人口減少や少子高齢化、過疎化が地方で急激に進み、消防防災活動の広大多様化、平日昼間の対応体制等の地域の状況に応じた対応策などの課題について説明があり、災害発生の可能性が高いと感じている人は6割以上と回答する一方で、災害への備えをしていると回答した人は4割以下という厳しい結果も示された。こうした災害に対する備え、災害ポテンシャルの低下を認識するのは難しく常に注意していないと維持が難しいと話された。日頃の啓発活動や訓練等により、災害への備えについての認識を改める活動を粘り強く続ける必要性を改めて感じた。

○近年、本市においても甚大な被害をもたらした台風による浸水被害に係る台風の進路と降水量の関係やメカニズムについて、ウェザーマップ顧問、気象予報士という経歴もあり、なぜ台風19号が関東平野で大きな被害をもたらす雨量になったのかなど、専門的な話を聞くことができ有意義な研修だった。